

# 蔵書検索システムについて

①平生から近くの図書館を利用して不便だなと思うことが2つあります。それは、

- ・検索して本を探るときに、本棚が見つからない・本棚のどこに目当ての本があるかわからない
- ・目当ての本が書庫にあり、館内職員さんに取ってきて頂く必要がある

ことです。

そこで、両者の共通点を考えたところ、どちらも本を探すときの不満であることに気付きました。そこから、検索システムに何かを足してみればよいのではないかと考えました。

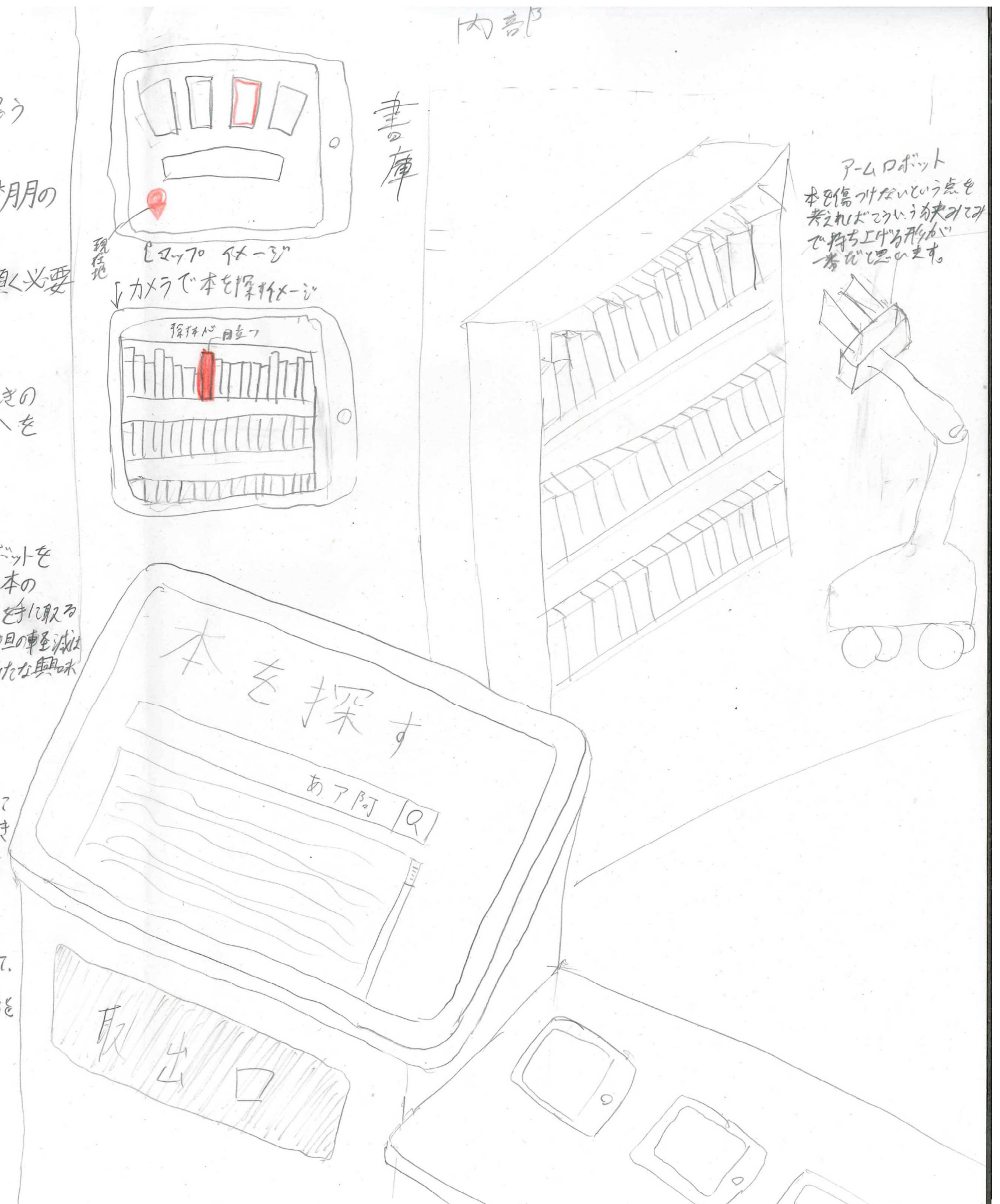
## ① 検索機械で書庫の本を取り出せるようにする

検索機械を書庫と隣接させ、書庫に自走式のアームを持ったロボットを配置し、本を持てきてもらえるようにするというものです。書庫内であらかじめ置く本の位置を決めておき、機械の下に取り出し口をつけておくことでスムーズに書庫内の本を取り出すことができます。また、コロナ禍のように人の接触を避ける際にロボットによる人の負担の軽減は大いに役立ちます。さらに、書庫内の本を取り出すことで、気軽に借りることができ、新たな興味を生み出したり、研究などの手助けにもつながります。

## ② 持ち歩けるマップ機能をつくる

自分のスマホなどにアプリを入れると画面上に図書館のマップが出て来るようにしたら良いのではと考えました。持ち運べることで、歩いているうちにどこに行くべきか忘れてしまうなどといったことを防ぐことができます。また、デジタルデバイスを使うことでより位置情報システムの活用や画面切り替え、カメラ機能などを利用して本棚の中から自動的に本を見つけることができるようになります。また、アプリを入れるとスマホが重くなってしまうなどの理由で利用できない人のために、電子書籍を読めることができるタブレットなどを置き、それにも本の検索機能をつけておく、というような工夫もできると思います。

無くても困りませんががあると便利なのでぜひお願ひします!!





《 With コロナ、after コロナでも安心して利用できる図書館 》

- 書籍消毒器の設置 (返却時、貸し出し時の2回消毒)
- 高齢者、子供、学生や社会人のスペースにわたる。  
(コロナに感染したとき重症化のリスクが高い人との接触をなるべく避ける)
- タブレットの設置 (本の検索はもちろん、自分の読んだ本について感想を書き込めるサイトを作る)

サイトは各自のスマホからもログイン可能。(家で読んで書く)  
本のバーコードを読みこんで書くことで、感想を書けたりする。  
×リット → 自分の好みの本をすぐに見つけられる。  
実際に本を触って開いたりすることが減り、時短、感染対策になる。  
レポートや調べ物をしたいとき、参考にできる

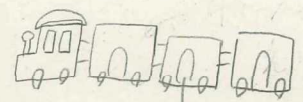
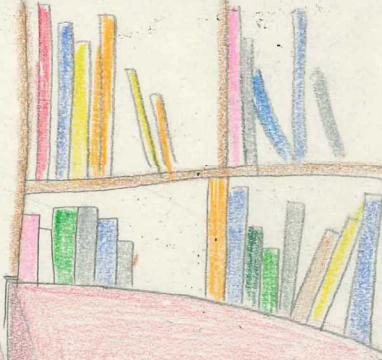


← 体温を測るセンサーの前に立つと、顔にスタンプがうつる。  
センサーに反応して消毒液が出ると同じおみじのレシートがまわる  
大吉!  
消毒おみじ

○ 入り口に消毒マット  
○ コロナについてのポスターを静岡県内の小・中・高から募集し、良いものを館内に貼る。  
→ コロナについて考える機会(増)

《 KIDS スペース 》

コロナで遠出できなくても気分が上がる非日常な空間



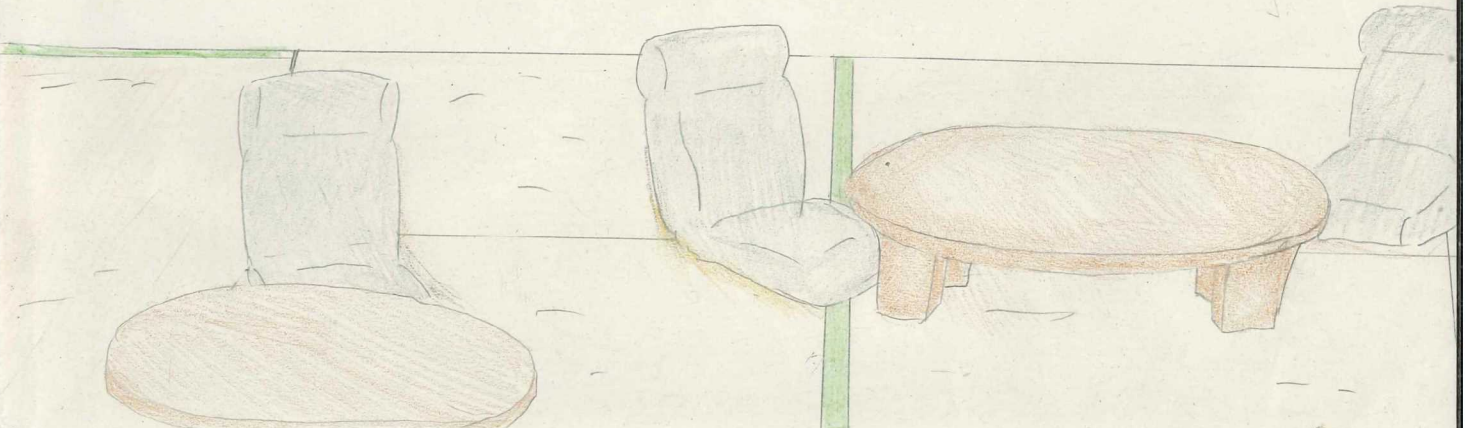
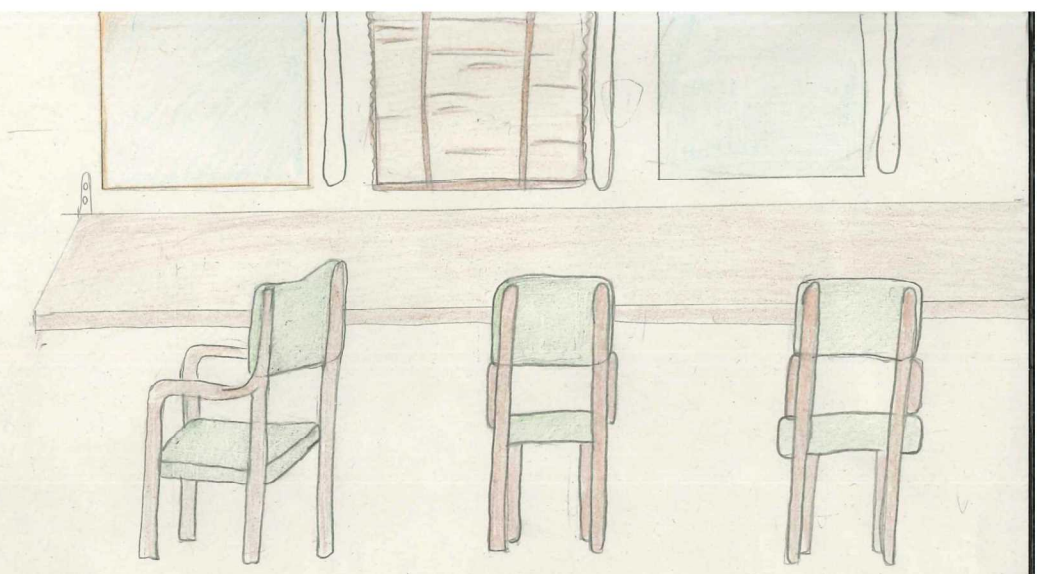
中にはいる! 絵本など



緑のふはらふはじゅうたんを芝生のように見せて外にいる雰囲気を作る

《 高齢者スペース 》

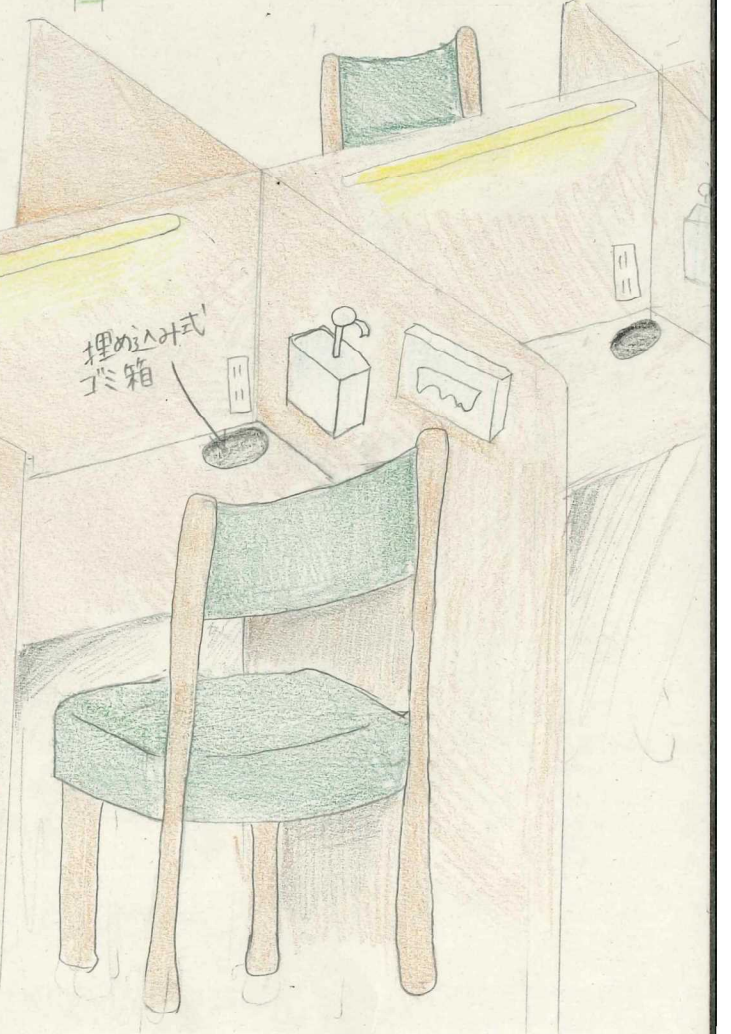
- 窓から光がはいってくるお洒落な空間
- 椅子の席に加えて畳の席も設置する



《 学生・社会人スペース 》

- 1人1人の間に大きめの仕切り板をつくり、集中できる空間+コロナ対策

- 各席に1つあるもの
- 消毒液とティッシュ  
→ 席を使う前に自分で机をふく
- ゴミを捨てられる穴  
→ 消しゴムのかす、消毒時のティッシュなどを捨てられる。
- ライト、コンセント





# デジタル化多様化を目指す!

## 1 キッズルーム

アクリル板で「囲う」として音の問題や安全衛生を考慮し、子どもにやさしい空間の本を閲覧し始める子に空間を提供する。芝生マットを敷いてGREEN効果。保護者も休めるようにいすや机も用意する。

## 2 屋外テラス

本を楽しながら景色も見たい、おしゃべりを楽しめたいテラス。室内の窓に植える空間を避ける目的で使用するこもできる。椅子を合わせ場所としても使用できる。

## 3 オブジェ、天井シアター

食卓の中心には大型パネルを設置し、本の検索と利用者がアンケートの結果や本を表示する。アプリも連動する(＜アプリ導入＞詳)また季節に合わせてオブジェや景色を投影する。(EX クリス마스ツリー、短冊(紙)の作りかけに壁上部にもパネルを設置し、フードコートやカフェスペースからスマートフォンでイベントを見られるようにする。

## 4 フードコート

館の一角に飲食店ができるスペースを設ける。本の持ち帰り止め可。軽食やドリンクの自動販売機を設置する。

## 5 学習ルーム

勉強ができるスペースをつくる。本を読む人にも明確にスペースを分ける。感染対策として開閉可能な窓にリ、仕切りつけて机を設置する。取り外して解放的に使われている。入口をガラススペースからなるべく遠くに作る。

## 6 スロージョ

1Fから2Fへ上がるためのスロージョ。本棚用スロージョの途中にも設置して収納スペースを確保する。バリアフリー構築。

## 7 雑誌、新聞スペース

入り口付近に架け橋や雑誌誌を眺める空間をつくる。通勤、通学、帰宅時にもおしゃべり、立ち寄れるカズアルは空間。ファミリー図書食卓から気軽に立ち寄れる新しい図書館の使い方。

## 8 貸し出し

無人で貸し出しのできるように貸し出し本架を設置する。おばあちゃんの本社会を減らす。不明な点はカウンターでサポートする。

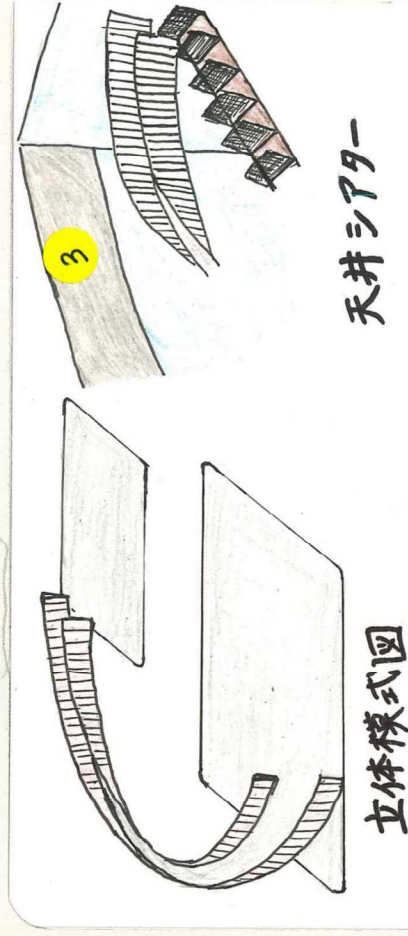
＜2F＞ 日が入るように1Fの半分を広げて作る。

## 9 2F本棚

専門月報誌やマニアックな本を主に収納する。マネージャの本棚。アプリを対人向け。

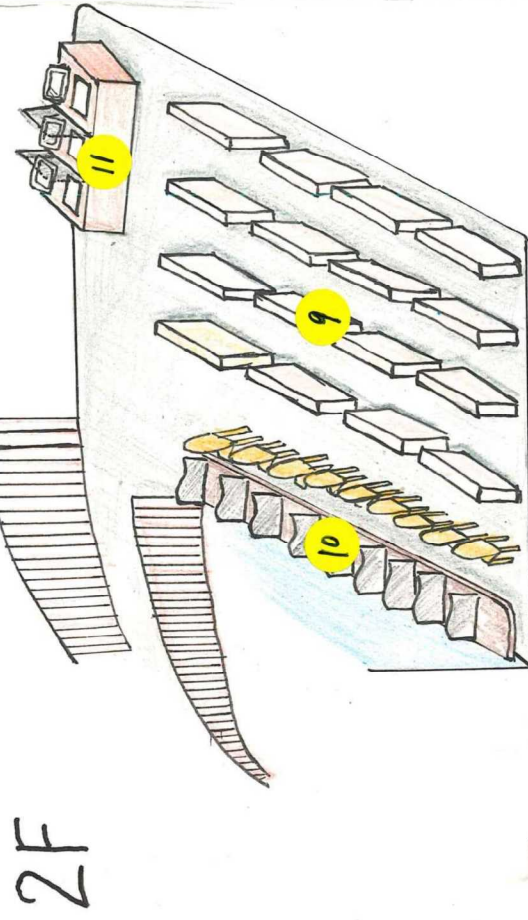
## 10 「カウンター閲覧席」

吹き抜けに面したカウンター席。

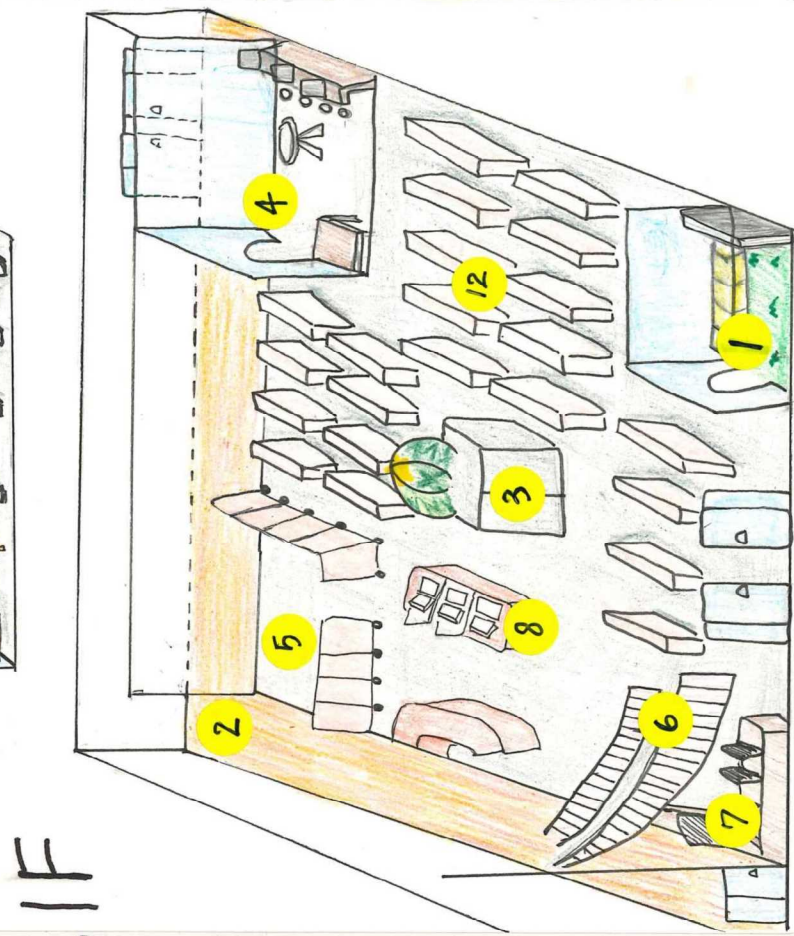


立体模式図

天井シアター



2F



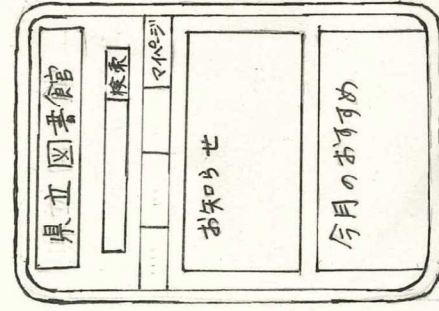
1F

## 11 「貸し出し本架」

2Fにも設置する。感染対策として仕切りをつける。

## 12 本の展示

雑誌や本架は表紙が見えて選べるようにする。本棚の間隔は取りやすいように2メートル以内で設置する。



スマートフォンで簡単に利用できるアプリを開発する。

## ○「マイページ」機能

- ・ログインすることでマイページが使える。
- ・読みたい本リストがわかる。
- ・すでに借りた本が表示される。
- ・借りている本の期限が表示される。
- ・本の感想やレビューでおすすめできる。

## ○「検索機能」

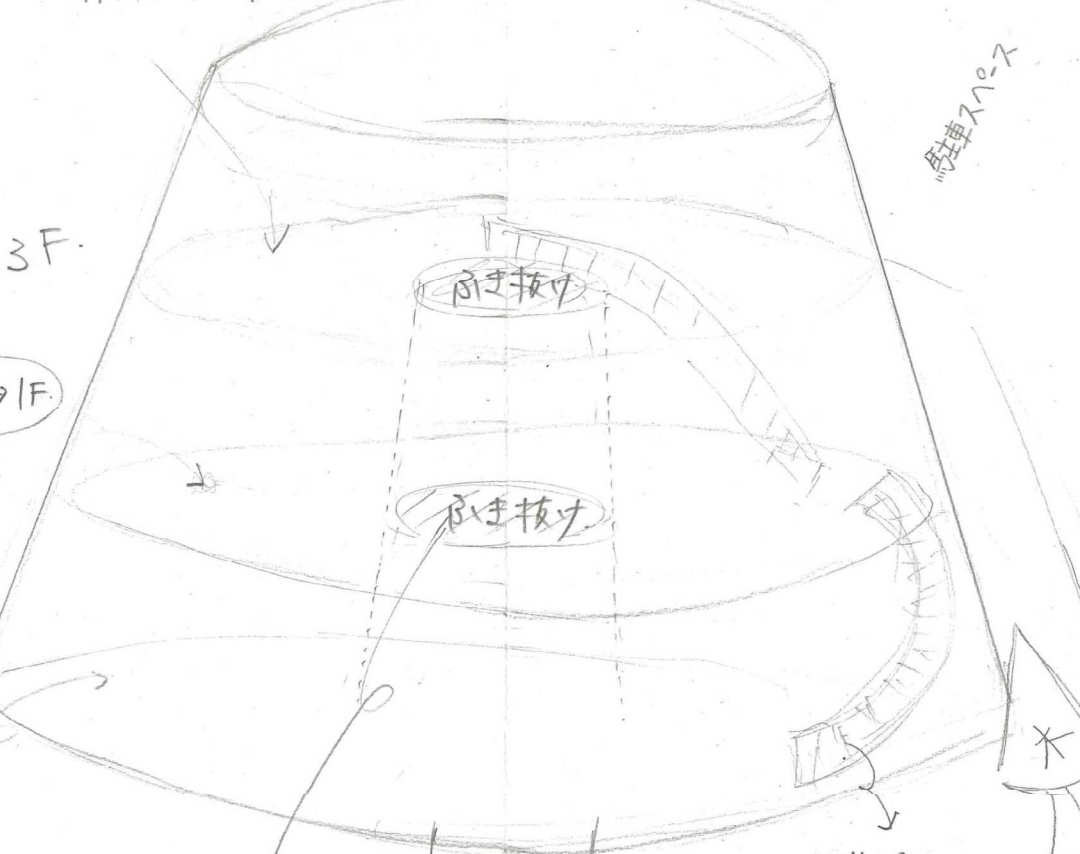
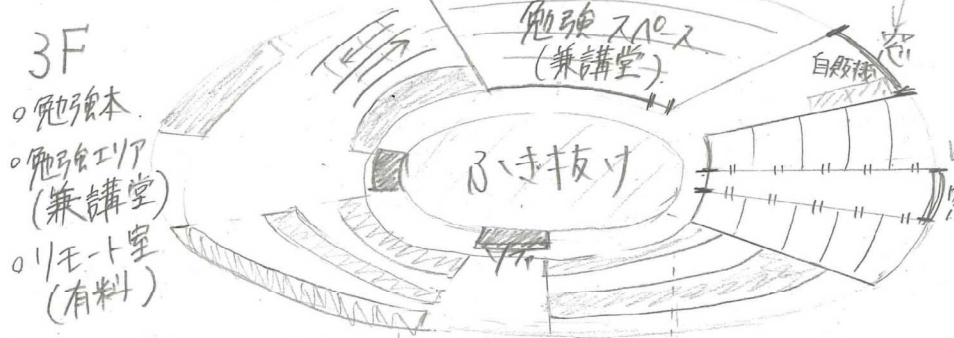
- ・本を登録し、気になっているものを検索できる。
- ・本の感想、レビューが見れる。
- ・冒頭が少し読める。
- ・本の在庫が確認できる。
- ・本の予約ができる。



# 静岡あふれる図書館

窓からは木々が見える。  
 目的  
 「家が散らかって...」  
 「家と子どもが...」  
 「この悩みを解決！」  
 アタゴト  
 コロナによって増えたか。→ 今後もこのような事は増えるかも。  
 リモートによる授業や仕事を、静かな雰囲気のある部屋で「できる」ように。  
 個室で防音。  
 有料だが、今は良い人が使えるように設置

富士山をモチーフにした造形。  
 周辺に静岡県内の町市村の木々を植える。  
 開館時間外でも本の返却が可能なポストを設置する。  
 各階に給茶機を設置する。  
 (無駄な利用の紙コップを隣に配置)  
 月曜のデザイン・塗装を静岡県出身のアーティスト、イラストレーターに依頼。  
 スマートキオスクを募集する



① 読書スペース  
 ・しきりつき机。← しきりは上向きでできる  
 ・机の前は大きな窓がガラス  
 ・中からは外に植えた木々が見える。  
 ・リラック入。市町の木や花

② 11:00-13:00  
 ・大きなホワイトボードを置いて  
 県民のおすそ本や、お知らせボードとして活用  
 ・季節のイベントなど。  
 (例)七夕のたすき、クリスマスツリーなど  
 オブジェを置いておける。

③ 健康増進スペース  
 静岡県は、健康寿命の平均が、男性 72.15歳、女性 75.43歳で、全国2位!!  
 "全国第1位まであと少し!!" といふことで、県民が健康を維持してもらうために設置。  
 主に、健康の講座をやったり、体操、食などを開催。  
 と健康食。開催した団体は、貸し出しがてきよくなる。

④ 読み放題  
 本棚は、11:00-13:00は、1階から3階の中央が読み放題になっている。読み放題にあることで、開放的になり、館内が明るくなる。  
 ・照明時代の節約。  
 ・丈夫なガラスをつけて、本などが落下しにくいようにする。  
 ・2階、3階からは、1階の11:00-13:00が見えるようにしている。  
 ・2階、3階にソファを設置し、本を読んだら、下を見たり、くつろぐエリアとして。

⑤ 曲線のエスカレーター  
 ・"まっすぐ" 動く歩道みたいな階段は、階段は、安全。  
 ・子ども、お年寄りも、誰もが安心して使える。  
 ・音がうるかもしないの2階、極力お静かな空間に。  
 ・電気を考えて、人が来ると動くようにセンサーをつける。

来館者が本を借りる際に、図書館カードと機械を使う機会を減らすことができる。  
 コーヒーなど、簡単に本を返却できるようにする。







# タブレット端末を利用した図書館

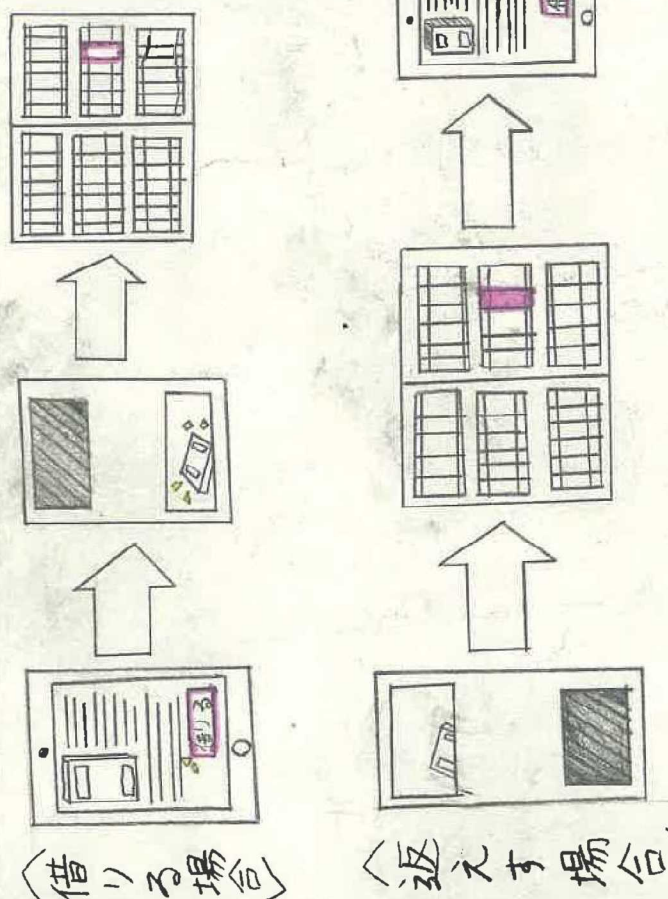
今現在コロナウイルスにより、図書館に行く人は、かなり少なくなりました。人があつた本にさわるのは、少し抵抗があるのかもしれないと思ったり、感染リスクをさげたいと思ったり、思う人が多いと思います。

本だけではなく、席の机やイス、本棚など、本棚が付いていると考える人もいます。しかし対策を行っていても、図書館を利用しにくい人があつても多々あります。だからこそ、どうしたらコロナ対策をしながら、図書館を利用しやすくなるかを考えようになりました。

そして、私は、タブレットなどの機械を利用すれば、多く人が図書館を利用してくれようと思ってきました。まず、図書館には、多くの本棚の中に本があつて、結果、かなりのスペースが本棚にとられてしまつて、机のスペースがせまくなつてしまつたので、コロナ対策をして、利用しにくくなつてしまつてしまつたので、本棚を全てなくし、広く机のスペースをとれば、いいと思つています。

それでは、本棚をなくしたのなら、本は、どこに？という疑問があつたり、本は、倉庫の中であつた本の貸出しや返却など全て、タブレットや機械でやれば、いいと思つています。

まず、見たい本をタブレットで見つけ、借りるというボタンを押すと、機械から本がでてくるしくみになって、その機械の中に消毒できる機械をつけて、対策をして本を読めるしくみにすれば、いいと思つています。返却は、機械の中に入れて、消毒をしてから、倉庫に戻すしくみにしています。このしくみを使えば、コロナウイルス対策をしながら本を読むことができます。



本棚がなく、倉庫の中に全ての本が保存されており、機械を通して消毒をすました後、機械から本がでてくるしくみにしている。誰でも簡単に本を借りることができ、ボタンを押すだけで、借りることができ、小さな子どもにも、簡単に図書館を利用できるしくみになっています。

本を返却すると、倉庫の中の本棚に消毒をしてから、戻されます。本棚に戻された本は、また、タブレットで借りることができ、返却も、簡単にできるしくみになります。どんな年齢の人でも、利用が簡単にできます。

このようにすれば、図書館には、とても広い机スペースが取れるようになり、本の消毒など、コロナ対策をすることができ、とても簡単に図書館を利用することが出来るので、気軽に図書館に行けるようになると思います。

本がコロナのせいで読むことができないなんて、私は嫌です。どうか、コロナ対策をして本を読むには、どうしたらいいかを考えました。私は、インターネットなど、機械を使つた方法を思いつきました。タブレットを使って、少しでもコロナ対策をして、本を読むことができる図書館ができるように思つています。私は、このような案をだしました。

私が注目した点は、コロナ対策です。一人でも多くの人が、この図書館を利用することを願っています。コロナウイルスが早くおさまることを、願っています。



# □□ナを越える□書食館

□書食館が「ウィズコロナ、アフターコロナ時代」に対応するためには、やはり感染対策が必要だと感じる。

そして□書食館でできる感染対策は「密を崩す」ことと、アルコール消毒だと思ふ。なので、席をしきりで分けたり、個室を利用することが必要だと思ふ。

特に個室はどんな人でも使いやすく便利である必要があると思ふ。

そのため、机に固定したタブレット端末で本や資料を簡単に検索できるようにするべきだと思ふ。

またテレワークのためを使う人が多くなるため、防音の壁を使ったりコンサントを設置する必要があると思ふ。

